玉島高校生が
主催する

2019年度

多文化共生ワークショップ実施報告

第１回多文化共生ワークショップ

「多文化共生 × 防災（HUG ゲーム）」

日　時	2019 年 8 月 2 日（金）
場　所	岡山大学
参 加 者	玉島高校、瀬戸高校、玉野光南高校、倉敷古城池高校、笠岡高校、玉野高校、岡山御津高校、岡山大学グローバルディスカバリープログラムの外国人留学生
ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	玉島高校２年　大島克明　　藤井紗登　　谷本涼音花
指導助言	岡山大学グローバルディスカバリープログラム　鄭 幸子 准教授
ね ら い	高校生と外国人留学生が避難所運営ゲーム（HUG）を実践し、共に防災意識を高める。

プレワークショップ

玉島高校の生徒会のメンバーと、有志の先生方でワークショップを行いました。
参加者からの多くのアドバイスや意見を参考に、本番までに改良！！

ワークショップ当日

岡山大学合同学習合宿参加の７校の高校生と外国人留学生を合わせて約８０名が集まりました。外国人留学生と話をするために、高校生達は身振り手振りで伝えたいことを伝えたり、メンバーと協力して英語を交えてコミュニケーションをとりました。グループ内で多文化理解に励んでいました。

参加者の声

知らない人たちに囲まれると、緊張して発言を控えてしまう自分に気付きました。進んで発言できる力を身につけたいです！

自分の考えを伝えることができる英語力を身につける必要性に気付きました！

ＨＵＧゲームは初めてでしたが、楽しく防災について考えることができたので良かったです！

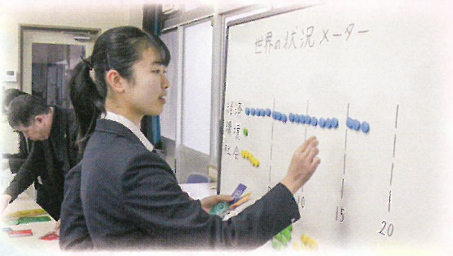
他校の生徒や大学生からとても良い刺激をもらうことができました。多文化交流の重要性を知りました！

第２回多文化共生ワークショップ

「SDGsカードゲーム体験会」

日　時	2019年12月26日（木）
場　所	玉島高校LL教室
参加者	玉島高校生、玉島高校教員
ファシリテーター	Human Innovation Theory-Lab HITラボ代表　横山三樹生 氏
ねらい	SDGsの17の目標について学び、17の目標を達成するために 私たちに何が出来るのかをカードゲームを通して体験する。

HITラボ代表の横山先生のご指導のもと、玉島高校の生徒、教員が、SDGsカードゲームを体験しました。
体験を通してSDGsの17の目標を達成するためにどんな行動を選択すればよいのかを深く考えました。
私たちは世界とつながっていて、私たちの日々の行動がSDGsのゴールに、そして未来につながっていることを学びました。



生徒の感想

SDGsの17の目標は、それぞれ単独で達成するためのものではなく、全てがつながっていて、全てを考慮して、持続可能な社会を目指していく必要があると感じました。特に、目標を達成するときは、周りにどんな影響を及ぼすのかも考えたいと思いました。

カードゲームでは、最初は自分たちのことばかりを考えていたけれど、最後にはみんなで世界を変えようとする動きになっていきとてもおもしろかったです。

2030年の地球の状態について考えたことはあまりありませんでしたが、今回のカードゲームは未来に向けて出来ることは何かを考えるきっかけになりました。

目標を達成するときには広い視野を持ち、目の前のことだけではなく、周囲に配慮することが大切であると学びました。